第１学年　算数科指導案

指導者名　徳成　恭子

単元名　たしざんとひきざん
本時の学習（本時６／６）
（１）ダブルジャンプと関連する時間（５／６）ズ○図，まえの，うしろの，●図，ひとり
（２）本時のねらい　数量の関係に着目して，図を用いて問題の解決の仕方を考え，表現する。
（３）評価規準　　数量の関係に着目して，図を用いて問題の解決の仕方を考え，表現している。【思考・判断・表現】
（４）展開

過程	学習活動（主な発問と予想される児童の反応）	留意点・　評価◎　支援◇
共有・表出13分	1　ダブルジャンプ問題１（オリジナル）を知り，学ボードや学習掲示板，ズバリから見通しをもち，課題をつかむ。 ゆうえんちの　ゴーカートに　人が　ならんでいます。きんこんちゃんの　まえに　６にん　います。きんこんちゃんの　うしろに　３にん　います。きんこんちゃんの　うしろの　３にんまで　のれました。 ぜんぶで　なんにん　のれましたか。 どんなずをかけば，正しいしきになるかな。 2　ダブルジャンプ問題１について，自分の考えを正院ノート（ワークシート）に書く。 ・きんこんちゃんの　うしろの　３にんまで　のれたから。 ・まず○ずを６こかいて，きんこんちゃんの　ひとりをかいて。	・本時と関わりが分かるように，学ボードや学習掲示板を用意しておく。 ４にん　そ　３にん ○○○○●○○○ □にん しき４＋１＋３＝８ ズバリ ○図　まえの　うしろの ●図　ひとり
つなぐ10分	3　正院ノートから，発表ボードに自分の考えをまとめる。 4　説明し合う。【みんなタイム】 ズバリ説明 ６にん　き　３にん 前　○○○○○○●○○○ □にん しき　６＋１＋３＝１０　　答え　１０人 最初に前の６人ときんこんちゃんの一人をたす。きんこんちゃんの後ろの３人までのれるだから、それに後ろの３人を足したら１０人とわかりました。 5　疑問を話し合ったり，よりよい発表ボードを選んだりする。 【どーなつタイム】【ベストタイム】 ・なぜ７が出てきたんですか。わかっていることに７は，かいてないよ。 ・もう一度，説明してほしいな。	・ガイドボードを用意し，間接指導の活動を示しておく。
活かす12分	6　ダブルジャンプ問題２（オリジナル）に取り組む。 問題 ゆうえんちの　ゴーカートのりばに　１０にん　ならんでいます。きんこんちゃんの　まえには　４にん　います。きんこんちゃんまで　ゴーカートに　のることが　できました。 まだ　のれていない　人は　なんにんですか。 7　どーなつボードで疑問点を焦点化し，説明し合う。 発この４は何？　答きんこんちゃんから見て，まえの４人 発５はどこから出てきたの？ 答きんこんちゃんから見て前の４人ときんこんちゃんの一人を足した数 8　学習のまとめをする。 ひとりの●ずと，まえのうしろの○ずをかけば，正しいしきをたてやすい。	◎数量の関係に着目して，図を用いて問題の解決の仕方を考え，表現している。【思考・判断・表現】 （観察，ワークシート） ◇どのように図を書くのか，ズバリや学ボードに戻るよう助言する。
振り返る10分	9　学びの５点振り返りシートと振り返りをする。 ・わかっていることから図を書くと，式がわかるな。 ・説明が難しかったな。自学でやってみよう。 10　適用問題をする。 ・ダブルジャンプ問題２の類似問題。	・適用問題が時間内に終わったときは，どのように考えたか説明させる。

（５）本時の学習と授業評価との関わり　ダブルジャンプ問題２について
A評価：図と式が正しく書いていて，言葉も書いている。
B評価：図と式を正しく書いている。（１０－４－１＝５，４＋１＝５　１０－５＝５）
C評価：図と式を正しく書けいない。